

2019年2月1日（金）APU校友会ボード会議アジェンダー

参加者				
代表	Koka Kuniyoshi (GUO Jia)	ディレクター	在校生	石井 泰乃
副代表	黄竹君 (ミッシェル) (HUANG Chu Chun)	ディレクター	財務	鬼塚 亮輔
顧問	吉田 聖崇	ディレクター	IT	樹下 有斗
ディレクター	チャプター 泉 美帆	監事		谷川 和哉
ディレクター	チャプター Channa Anandagoda	校友会事務局		尾場瀬 理沙
ディレクター	校友 Nualpan Kunakornpaiboonsiri	校友会事務局		衛藤 萌
ディレクター	校友 萩原 慶子	20周年 (途中参加)		萩野 慶
ディレクター	PR Zhang Mengdi (Mandy)	20周年 (途中参加)		鈴木 建也
ディレクター	PR 前原 博信 (Hironobu Maehara)	20周年 (途中参加)		蔵下 陸
ディレクター	在校生 芦村 夢樹 (Kevin Rull)	20周年 (途中参加)		津村 麻衣

■ = 決定事項 ■ = やること

会議場所：ビジョンセンター東京駅前

Agenda	Description	Purpose	Decision Making topic	
Opening Remark	MTGのGoal, agenda紹介			Purpose : Discussion and decision making on Budget / Chapter support / Student support / Promotion. Board's mission is to support & shape APU alumni into a more sustainable organization to achieve its vision. Everyone has a valuable viewpoint –Be actively participating  For every topic, explain clearly about the 1)Background 2)Purpose : Sharing? Discussion? Decision Making? 3)(end summary) To-do with schedule If you oppose you must propose
Teambuilding (Self-introduction)		Sharing		
Networking Lunch				
校友関係紹介	Group, social development grant	Sharing		・ Social Development Grant 今年度3件授与 授与方法については方針を変えた。(以前最終レポートの未提出者がいたため、今回は事前に70%渡し、レポート受領後30%を授与。) より審査方法明確にしたい。 ・ Group APU Startup Founders APU REN : 5月にキックオフ APU Kids School : 英会話スクールを行う予定。主に東京で行っているがこの名前を使って国内外で活動してほしい。
20周年内容紹介等		Decision Making	1. get approval on additional budget of 3 million	約16人メンバーになった。 目指しているもの：いろんな国・地域から集まってきてもらいたい 混ざり合いを促進するコンテンツを提供する APUは卒業してからこそAPUであるべき 将来一緒にビジネスできたらいい。 →実現しているか？まだな気がする。→その実現を目指したい 【300万円を予算化した。クラウドファンディングは300万予定】 ⇒何に使うのか？明確にすべき。 協賛についての話をする際に必要な交通費、プロモーション 大学で補助できる部分もあるため、予算表を提示してもらいたい。 ⇒上限300万円として承認  【質問等】 ・ 入場券は作成するのか？⇒しない。 ・ 協賛する企業は？⇒卒業生の企業・地域の企業 ・ ブース代など募集しては？ 【予定】 4月までに20周年EXPOのコンテンツを明確にする。 Slackでボードへ20周年プロジェクトメンバー進捗伝える。
財務	(1)来年のチャプター予算案 (2)寄付制度	Decision Making & Discussion	1. Sharing on FY2019 action(new chapter scheme) 2. get approval on RLM 2020 3. proposal on alumni fee collection scheme and future vision of finance scheme 4. recruit additional finance member	・チャプター活動費補助：予算定額制にする 概ね理解してもらった。全チャプターへの配分として500万円を上限にする。 定額制にした背景→各チャプターに独立して欲しいという思いから。 過去2年間の総会の実績+予定シートを判断材料にし、3月までに予算を確定し、4月にチャプターへ提示をする。 ・みらい創造寄付を構築 JUMBO Partyでキックオフ ・2020年RLM開催は全チャプター10月31日(土)に開催。(20周年フィナーレ1日目) ・予算 今まで貯めてきた予算も使って実施。500万程予算オーバー予定。 全チャプターまとめたRLM開催となれば大がかりなので委員会が必要  ・現在の校友会費の徴収方法 大学入学時に大学が徴収。支払っている人1500人、現在の状況では持続可能ではない。 ・校友会費の今後の方針 入学時の大学による校友会徴収を撤廃したい(リスクあるが)⇒2022年度までに 代替案： ①会費徴収廃止 各チャプターが独立してやっていく。⇒厳しいのではないか？ ②会費入学時で徴収 ③国際学生の徴収方法 ④大学が入学時で代理徴収 ・財務の新メンバー募集について→Tarnさん候補 タスクフォースを作り検討を行う(こか、吉田、鬼塚、Tarn)、入学式・卒業式で会費を徴収ブースつくる。 【意見】 ・定額制に関して→各チャプターの予算の残りはどのように管理するのか？ ・予算の徴収について：変更するのであれば、来年から今年からとすぐに収入に減るのをいとわず行うより、何年後と決めて、減収を抑える方法を考えてから行ったほうがよいのではないか？ ・メリットの提示をすべきではないか？⇒ハード面とソフト面 ・分割払いにしては？
Bio Break				

ボード承諾	- 副代表選出 - 昨年 & 来年のRLMプラン (Share)	Decision Making	1. get agreement on new vice president 2. get approval on advisor 4. get approval on new york chapter	・萩原 慶子さん副代表選出 ・顧問について 会則上で任期は記載なしのため、今回新たに会則を定める。 「顧問の役割と任期は代表が指定する」 ・ニューヨーク近郊チャプター設立承認 にするかアメリカチャプターにするか名前は後日リーダーに確認してもらう。チャプターの設立については異議なし。
各担当のグループ議論				
Presentation	昨年度の活動 主要な課題 今年度計画			<p>【在学生・PR担当】</p> <p>在学生：毎週ループスとのMTG参加、奨学金選考 ⇒ループスの上に乗って動かないように気を付けている⇒いくら補助できるか検討しないといけない。 ⇒奨学金の応募者が少ない、キャンパスターミナルを学生が見ない。方法を見直さないといけない。⇒3月までに検討する。 PR： 動画作成をしたい。 ⇒予算を確保したい(100万)。9月までに作成したい。 PR・チャプター担当と連携しないとけない。</p> <p>プロジェクトマネジメントについて考えたい。 Facebook などを利用して告知したらどうか？ ターゲットは？⇒すべての人 メールを送って、URLをトラッキングもできる。分析はできる。</p> <p>【チャプター・校友】</p> <p>校友⇒Social Development Grantの運営。 チャプター⇒大学が勧誘しながらチャプター再建してもいいか？⇒OK 休眠中のチャプターをどう取り扱うべきか？ ⇒なるべく活動を保持していきたい。ボード預かりにして、総会を提供してあげるのはどうか？ ⇒代表を再募集する方法でいいか？(卒業生にメールを送る) スリランカチャプターでも国内・外チャプター2つをつくっていいか？ ⇒チャプターは現地一つ、国内外で活動する場合、グループとして創立することをお勧めする RLMのアナウンスをいち早くしたい。⇒3月までにはアナウンスを行う。</p> <p>【コーポレート】</p> <p>IT:プラットフォーム作成について⇒ほとんどの想定内のことはLinkedinでできる。 卒業生同士がつながることが見えてこない、そんな中プラットフォームを使っても人が集まってこないんじゃないか。 Linkedinを活用していき、人が集まった段階でプラットフォームに移行したい。 事例をPRにしていく。卒業生が交流する目的をつくる。 目的をつくって、Linkedinを使えば調べられる。 財務：2月に固定費ヒアリング、来年度予算は4月に交付。</p>
Bio Break				
事前募集したTopics	Alumni video idea& cost	Decision Making		<p>紙ではなく、視覚的にアプローチできる動画をつくったほうがいいのではないか？</p> <p>【ビデオにするメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人が発表しても、ベーシックな情報をしっかり伝えられる。</li> <li>・広報メンバーの交通費をかけるより費用対効果がある。</li> </ul> <p>樹下さんの会社IDMに動画を作ってもらうように 卒業式や入学式で使えるもの。1-3分。 APUは「卒業=終わり」じゃない。 案：頼れる先輩たちが世界中にいるから、1人じゃない、冒険しようというフレーズにしたい。。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんバターのビデオをつくったほうがいい。</li> <li>・チャプターとの密な情報提供の連携を行いたい。</li> <li>・いいものをつくるのであれば、お金をかけてもいいのではないか？</li> <li>・アドミッションズとコラボしてPR作成したらどうか？</li> <li>・ターゲティングを考えてから行動してはいいのではないか？</li> </ul> <p>【PRターゲット】</p> <p>皆(だけどプライオリティをつくれればいい)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①新卒業生(卒業生)</li> <li>②チャプターがある地域に住む卒業生</li> <li>③入学生</li> <li>④休眠しているチャプターにいる卒業生</li> </ol> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebook Homepage使い広報</li> <li>・20周年プロジェクトコラボする</li> </ul> <p>⇒再度ターゲット、コンテンツ等を考え提示</p>
	How to improve and promote alumni engagement activities.			人が少ない場合どうすればいいかわからないという相談が来る⇒20周年のRLMで解決してもらう RLMでグッドプラクティスを集めて、セッションを行ってはどうか？ 総会・イベントを実施する際、他とコラボし、集客してもいい(他チャプター・他団体・市民の方・学長や先生を呼ぶ)
	校友会からの寄付中止→みらい創造寄付を推進へのシフトチェンジ			移行期間を置きたい。 みらい創造寄付をまず使い、足りない部分は校友会から出す。
	ボードと各チャプター間の分断について	Decision Making		分断をなくすため、ボードメンバーにチャプターのメンバーを入れたい。 Slackの通知機能を使って、チャプターに使ってほしい。(アプリを入れてほしい。)
	ボード内コミュニケーション活性化	Decision Making		Slack使用でコミュニケーションが活性化された。 3か月に1回はボードMTGを実施。方法は後日シェア。